

### 学校臨時休業による影響と対応

質問者 寺尾 昭（共産党）

新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業で影響を受けた授業日数、学校行事、部活動や授業の遅れへの対応は。また、今後の学校と家庭における対応は。

【答弁】 26日間の休業措置で減った授業時数は、1日の時数の変更や夏休みの短縮などにより確保に努め、運動会などの学校行事は、延期や代替、内容の削減など柔軟に形を変え、実施に努めている。部活動は、感染対策プランを作成し、段階的に活動を再開した。授業の遅れに対しては、学習すべき全ての内容を履修できるように一部の授業のやり方を見直し、また希望に応じて補充学習を実施している。

【答弁】 今後は、安全確保を図りつつ授業を継続した上で、学校の授業と家庭での調べ学習を相互に活用する等、これまで以上に家庭と連携し学習指導を進めていく。

### 健康長寿のまちづくりの推進

質問者 長島 強（公明党）

静岡市健康長寿のまちづくり計画の中間見直しの状況と市長の受け止めは。また、今後新たに重点的に取り組む事業はどのようなものか。

【答弁】 中間見直しでは200以上の全ての事業実績を評価し、概ね順調な進捗状況であることを確認した。令和2年10月に認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」がオープンし、S型デイサービスの充実や生涯活躍のまちづくりなどの取組も含め、健康長寿のまちの推進が着実に進んでいると受け止めている。

【答弁】 今後は、「共生」と「予防」を基本とする認知症施策として、①相談支援体制の強化、②認知症の方ご本人が参加する活動の支援など認知症の方の声を取り入れた活動、③若年性認知症支援施策の強化、の3点を中心に総合的に推進する。

### 語句説明

#### 静岡市健康長寿のまちづくり計画

市民が健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた「自宅ですっと」暮らすことができるまちの実現を目標とした平成30年度から令和4年度までの計画。

#### 認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」

令和2年10月に七間町にオープンした認知症の方や家族への総合的な支援を行う中心拠点。



かけこまち七間町

### 桜ヶ丘病院の移転候補地と清水庁舎整備等事業

質問者 風間 重樹（創生静岡）

清水駅東口公園を桜ヶ丘病院の移転候補地の一つとして提示した市長の決意と覚悟はどのようなものか。

【答弁】 また、仮に移転先として選択された場合、清水庁舎整備等事業の新たな計画に対し、改めて市民意見の聴取と合意形成が必要になると思うがどうか。

【答弁】 救急患者搬送を静岡地域に頼る事態が慢性化し、医師不足が深刻化している清水地域において、桜ヶ丘病院の早期移転は、地域医療体制の拡充につながるから、優先すべき責務であると考え、市政を前に進める覚悟で決断した。

【答弁】 ポストコロナ時代の新庁舎の在り方における調査、研究により得られた知見などを計画に反映する際の合意形成にあたっては、これまでと同様に、市民の意見聴取などを行っていく。

### 高齢難聴者への補聴器購入補助の必要性

質問者 杉本 護（共産党）

高齢性難聴は、人とのコミュニケーションを取りづらくすることから、認知症の危険因子であると指摘されており、本市議会は令和元年に難聴者の補聴器購入の公的支援を求める意見書を国に提出した。

【答弁】 高齢難聴者の認知症を予防し、社会参加を促すためには、早期からの補聴器使用が有効であり、また高齢者が働くうえで難聴対策は重要であるが、補聴器は高価なため購入できない高齢者が多くいると考える。市として購入補助を行う考えはあるか。

【答弁】 現在国は聴覚障がいへの補正による認知機能低下の予防効果を検証している。2年9月には大都市会議から国に要望書を提出しており、補聴器の医学的有効性が確認された場合は全国一律の補助制度を創設するよう求めている。今後も国の動向等を注視していく。

### 共立蒲原総合病院の必要性と重要性

質問者 内田 隆典（共産党）

令和元年9月に厚生労働省が公表した、再編統合の必要性について議論が必要な病院に含まれる共立蒲原総合病院は地域にとって欠かせない病院と考えるが、市の考えはどうか。

【答弁】 共立蒲原総合病院は、急性期から回復期、慢性期までの機能を有する病院であり、由比・蒲原地区の住民の身近な医療機関として、多くの地域住民が利用している。

【答弁】 また、地域の救急医療を担うほか、災害医療では本市、富士市、富士宮市から救護病院に指定されている。本市は、同病院の必要性及び重要性は極めて高いと考えており、引き続き、富士市、富士宮市と連携し、地域の基幹病院として医療を提供できるよう取り組んでいく。

### 市営住宅の入居承継と入居に係る連帯保証人の確保

質問者 大石 直樹（公明党）

市営住宅の入居承継を認める範囲は。また、入居時の条件となる連帯保証人の確保が困難な方に対し、市は今後どのように対応していくか。

【答弁】 本市では原則として、入居名義人の配偶者または同居年数1年以上の3親等以内の親族に市営住宅の入居承継を認めている。

【答弁】 連帯保証人については、平成30年4月から住所要件を市内在住から国内在住とし、遠方の親族などが連帯保証人になることを可能とした。また、令和2年4月の民法改正で、連帯保証人が責任を負う家賃等の限度額の設定が義務付けられ、経済的な不安も減少すると考える。高齢化の進行に伴い、連帯保証人の確保が難しい方の増加が懸念されるため、家賃債務保証会社等の活用も早期に実現できるよう、検討を進めている。

### オクシズの環境保全と地域振興

質問者 尾崎 行雄（自民党）

近年、オクシズの森林において景観や山地災害を無視した開発が行われ、自然環境が破壊されている。オクシズの森林開発について、過去に提案した森林文化都市構想も踏まえ、市長はどう考えているか。

【答弁】 一度破壊された自然は元に戻らないことから、自然環境を脅かす乱開発や、産業廃棄物の不法投棄などの行為を排除していくよう最善を尽くし、かけがえない地域資源であるオクシズの森林を持続させるために官民連携の輪を広げて取り組んでいく。

【答弁】 また、新しい生活様式の中でオクシズ地域を重要視する立場から、3次総で掲げている5大構想に加え、次の総合計画では新たに森の恵みを活かしたまちづくりを進めるため、森林文化都市構想について深く研究していきたいと考えている。

### 語句説明

#### 大都市会議

東京都及び政令指定都市の高齢者福祉・高齢者医療主管課長による会議

### 語句説明

#### 入居承継

入居名義人が死亡し、又は退去する場合に、同居家族が市長の承認を得て利用の権利を承継すること。

#### 家賃債務保証会社

入居者が保証料を支払うことで、家賃等滞納時に保証会社が一定の範囲内で家賃等を立て替える保証サービスを提供する会社。

### 語句説明

#### 森林文化都市構想

森林が健全に保たれ、市民が森林と触れ合うことで山や木に対する愛着や誇りを持つこと。それにより、山に住む人、まちに住む人双方が支えあうような好循環な都市を目指す考え。



オクシズの風景

### 南アルプス南部地域の連携

質問者 安竹 信男（創生静岡）

南アルプス南部をつなぐ林道井川雨畑線の位置づけと南アルプス南部地域活性化推進協議会の活用についてどのように考えているか。

【答弁】 林道井川雨畑線は、井川地区と山梨県早川町を結ぶ路線であり、人や物が交流することで地域振興の一役を担う林道であると考え。現在、被災箇所を復旧に長い期間を要しているため、国に対し、引き続き治山工事の推進について要望を続けていく。

【答弁】 南アルプス南部地域活性化推進協議会は、平成27年度に川根本町、山梨県早川町と本市が連携し、地域の活性化を図ることを目的に設立された。林道井川雨畑線の復旧を当面の目標として、林道の状況について、引き続き1市2町で情報共有を図っていく。